

2027年2月期

第2四半期 決算説明会資料

2026年10月8日

株式会社パルグループホールディングス 証券コード:2726

SMILE
IS
POWER.

社員と株主みんなの幸せのための経営



SMILE
IS
POWER.

PAL GROUP HOLDINGS

目次

財務報告	2
2027年2月期 第2四半期決算概況	3
経営ビジョン	17
トピックス	23
株主様への対応	32
ESGへの取組み	35



SMILE
IS
POWER.

PAL GROUP HOLDINGS

財務報告

2027年2月期 第2四半期決算概況
2027年2月期 通期業績見通し



上期を振り返って

国内経済は雇用・所得環境の改善が見られる一方、物価高に伴う生活防衛意識の強まりが消費に影響を与えています。そうした環境下においても、当社グループは顧客ニーズの変化に柔軟に対応し、当上期連結業績において過去最高の売上高および利益を達成いたしました。

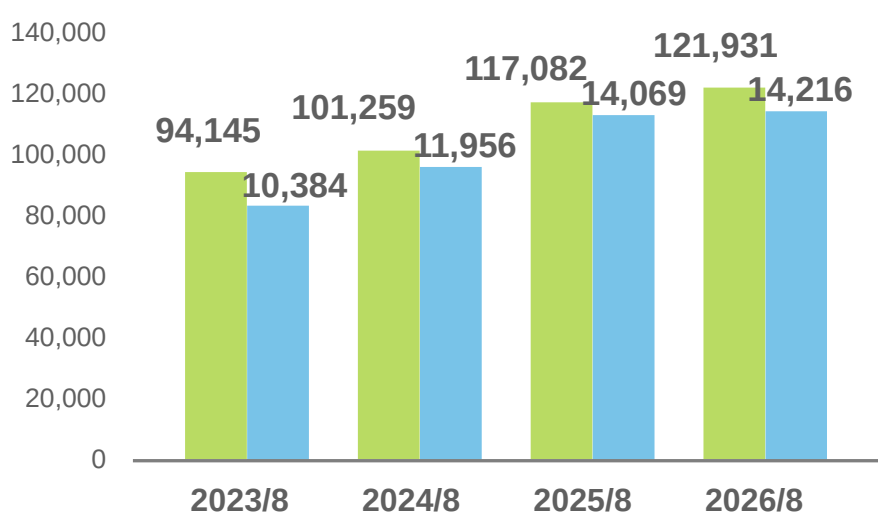
売上高 : 衣料事業は、トレンドを捉えたヤングカジュアルブランドの好調と店舗来店客数の増加により、売上を大きく伸ばしました。雑貨事業は、6月の低温や自然災害などの天候不順による下押し圧力を乗り越え、増収を確保いたしました。この結果、当上期の連結売上高は過去最高を更新いたしました。

利益面 : 衣料事業は、ヤングカジュアルブランドの好調が牽引し、増収増益となりました。雑貨事業は、中東情勢等による先行き不透明感や天候不順の影響を受け、前年の高いハードルもあり増収減益となりました。しかしながら、衣料事業の伸びが雑貨事業の減益分をカバーし、連結経常利益は上期として過去最高を更新いたしました。

連結

■ 売上高 ■ 経常利益

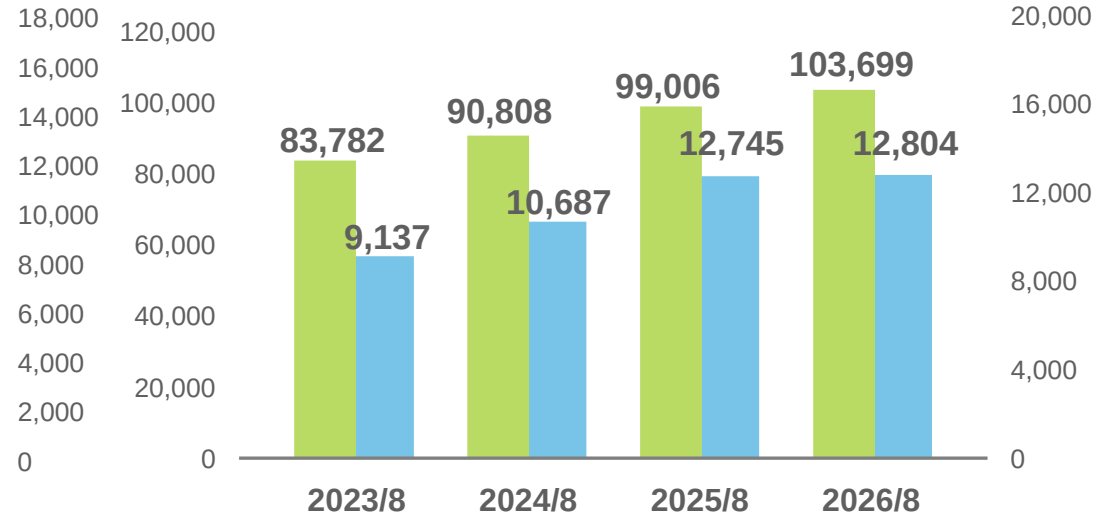
単位: 百万円



^{(株)パルグループ}ホールディングス単体 + ^{(株)パル}

■ 売上高 ■ 経常利益

単位: 百万円



単位:百万円

	2025年2月期 第2四半期	2026年2月期 第2四半期	2027年2月期 第2四半期			
			公表値	実績	前年同期比	公表値比
売上高	101,259	117,082	126,000	121,931	104.1%	96.8%
売上総利益	56,673	66,874	72,550	70,432	105.3%	97.1%
(売上比)	56.0%	57.1%	57.6%	57.8%	0.7%	0.2%
営業利益	11,806	14,095	15,000	14,254	101.1%	95.0%
(売上比)	11.7%	12.0%	11.9%	11.7%	▲0.3%	▲0.2%
経常利益	11,956	14,069	15,000	14,216	101.0%	94.8%
(売上比)	11.8%	12.0%	11.9%	11.7%	▲0.3%	▲0.2%
親会社株主に帰属する 中間純利益	7,668	9,186	9,850	9,428	102.6%	95.7%
(売上比)	7.6%	7.8%	7.8%	7.7%	▲0.1%	▲0.1%

- 売上高・利益ともに上期として過去最高を更新したものの、期初計画に対しては未達となりました。これは主に、天候不順等による業績への下押し圧力が大きく、特に雑貨事業においてその影響を受けたことによるものです。
- 売上総利益率は、期初想定を上回る改善幅を記録しました。売上高の伸びが期初計画に届かなかったため、増加した販管費の伸びをカバーできず、売上高営業利益率は0.3%低下する結果となりました。

単位:百万円

	2025年2月期 第2四半期	2026年2月期 第2四半期	2027年2月期 第2四半期	
			実績	前年同期比
売上高	90,808	99,006	103,699	104.7%
売上総利益	50,889	57,110	60,300	105.6%
(売上比)	56.0%	57.7%	58.1%	0.4%
営業利益	10,680	12,760	12,844	100.7%
(売上比)	11.8%	12.9%	12.4%	▲0.5%
経常利益	10,687	12,746	12,804	100.5%
(売上比)	11.8%	12.9%	12.3%	▲0.5%
中間純利益	7,921	9,636	8,954	92.9%
(売上比)	8.7%	9.7%	8.6%	▲1.1%

- 衣料事業は、トレンドの変化を捉え、ヤングカジュアル系ブランドが好調に売上を伸ばしました。店舗の来店客数・売上が回復し、EC売上も伸びたため、増収増益となりました。
- 3COINS事業は、天候要因が大きな下押し圧力となり、売上高は増収を確保したものの計画を下回る結果となりました。在庫管理の徹底により売上総利益率は向上したものの、販管費等の増加を補いきれず、増収減益となりました。

単位:百万円

	2025年2月期 第2四半期	2026年2月期 第2四半期	2027年2月期 第2四半期	前年同期比
売上高	8,352	10,679	11,177	104.6%
営業利益	824	876	974	111.1%
経常利益	826	875	985	112.5%
中間純利益	520	572	612	106.9%

- 上半期は主力ブランドの牽引と粗利率の改善により、売上高(前年同期比104.6%)・営業利益(同111.1%)ともに堅調に推移いたしました。主力『one after another NICE CLAUP』や『OLIVE des OLIVE』が好調を維持したほか、付加価値商品の展開による客単価上昇が原価高騰を吸収し増益に寄与しました。一時苦戦した『BIRTHDAY BAR』もMD体制の刷新により足元(7-8月)では前年超えまで急回復しております。
- デジタル施策の強化によりSNS全社フォロワー数は373万人に拡大し、EC売上(前年比110%)の継続的な成長を牽引しております。強い発信力を背景とした集客・予約の好調基調を背景に、下期においてもオンライン・オフライン双方での顧客接点の拡大とブランド認知の底上げを強力に推進してまいります。
- 店舗展開においては上期に純増2店舗(出店6・退店4、期末128店舗)となり、下期以降も積極的な出店を加速させてまいります。引き続き好調な『OLIVE des OLIVE』に加え、新ブランド『Belle Charme』などの新規出店を軸としてネットワークを拡大し、下期の更なる業績拡大と成長の加速を図ってまいります。

単位:百万円

	2025年2月期 第2四半期	2026年2月期 第2四半期	2027年2月期 第2四半期	前年同期比
売上高	6,371	6,142	5,604	91.2%
営業利益	603	208	52	25.0%
経常利益	621	230	79	34.3%
中間純利益	405	153	▲84	—

- 上半期の業績は、基幹ブランド『NOLLEY' S』の苦戦により減収減益となりました。営業利益は、期初計画を約3億円下回りました。定番商品の売上減少が主因と分析しており、社外からのアドバイスも得ながらMD施策の改善を推進し、商品の鮮度の向上、発注の適正化とアウトレットの活用により店舗でのセールを抑制し、粗利率の改善を図ってまいります。
- 新規顧客の来店動機づけや、気温などの影響を受けづらい商材として、服飾雑貨の強化に取り組んでおります。基幹ブランド『NOLLEY' S』では、ウェアの売上は減少しておりますが、雑貨関連の売上は前年比約130%まで伸長しており、取り組みの効果は表れてきています。
- ECに関しては、組織体制の変更と役割の明確化、EC専用品番の投入を進め、先行予約による売上シェアを高めることで、売上の回復につなげてまいります。今期秋冬商品については、予約実績が前年比115%まで伸長しており、今後も予約販売の強化を通じてEC売上の底上げと業績の挽回を図ってまいります。

セグメント別販売実績及びEC売上高の状況

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

		2025年2月期 第2四半期	2026年2月期 第2四半期	2027年2月期 第2四半期	前年同期比
衣 料	売上高	59,857	70,581	74,475	105.5%
	構成比	59.2%	60.3%	61.1%	0.8%
	営業利益	8,649	8,947	9,424	105.3%
	営業利益率	14.4%	12.7%	12.7%	0.0%
雑 貨	売上高	41,244	46,279	47,366	102.3%
	構成比	40.8%	39.5%	38.8%	▲0.7%
	営業利益	3,173	5,137	4,814	93.7%
	営業利益率	7.7%	11.1%	10.2%	▲0.9%
その他	売上高	157	222	96	43.2%
		2025年2月期 第2四半期	2026年2月期 第2四半期	2027年2月期 第2四半期	前年同期比
EC売上高	ZOZO TOWN	11,772	13,677	14,316	104.7%
	自社PALCLOSET	10,905	12,208	12,450	102.0%
	その他	2,373	3,363	3,465	103.0%
	合計	25,049	29,247	30,231	103.4%
	対衣料売上高比率	41.8%	41.4%	40.6%	▲0.8%

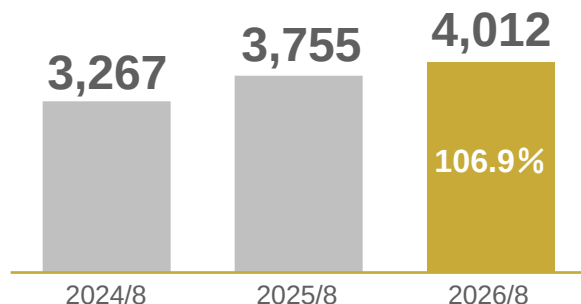
- 衣料事業は、増収増益となりましたが、営業利益率は、人件費の増加やノーリーズの不振もあり横ばいにとどまりました。雑貨事業は、前年実績のハードルの高さに加え、天候要因が下押し圧力となり、増収減益となりました。
- EC売上は3～4月の出遅れを徐々に取り戻してきました。8月末時点での自社ECプラットフォーム「パルクローゼット」会員数は1,450万人を超え、SNSのフォロワー数は2,800万人を超えています。

主なブランド

PAL GROUP HOLDINGS

売上高

単位:百万円



BEARDSLEY

心地よいフォルムや素材へのこだわり。
刺繍やオリジナルプリントで
遊び心を加えたハンドワーク感のあるもの。
唯一無二な世界観。
イメージを象徴するワードから発想する、
物作りのシーズンテーマ。
一つ一つの物語を読み進めるように
コレクションを展開しています。

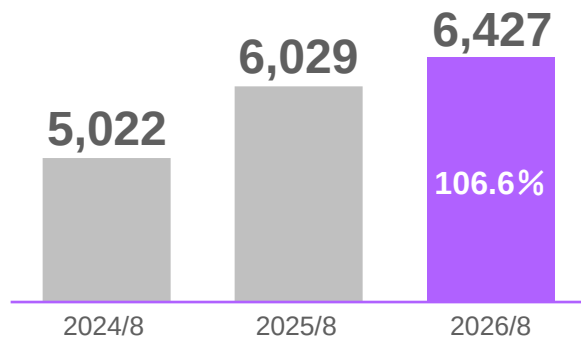
ビアズリー

店舗数 20店舗



売上高

単位:百万円

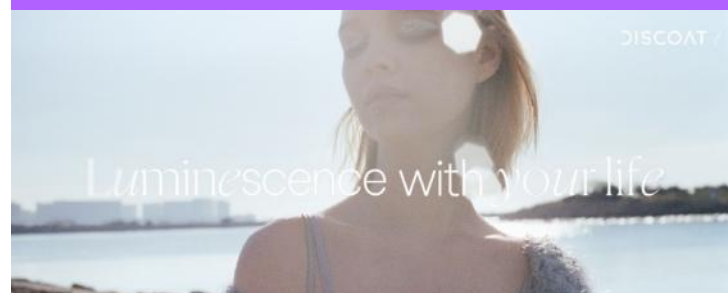


DISCOAT /

with your life
ライフスタイルを豊かにしてくれるモノ・コト
『フレンチカジュアル×ヴィンテージ』をベースに
トレンドを自分らしく楽しめるファッションと
日常をアップデートしてくれる
ライフスタイルアイテムを提案します。

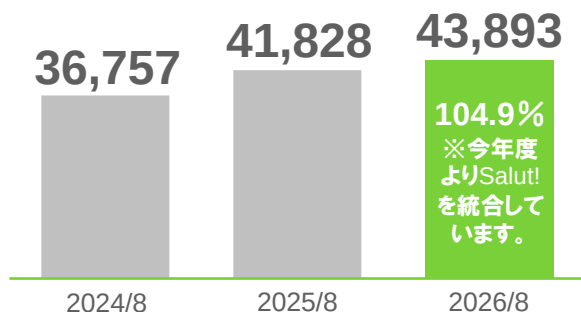
ディスコート

店舗数 54店舗



売上高

単位:百万円



3COINS

ベーシックな生活雑貨から、
空間を彩るインテリア雑貨など幅広いラインナップと、
つい手に取りたくなるデザイン性のある商品たち…
いつ行っても新しい発見がある「3COINS」は、
あなたの“ちょっと幸せ”をお手伝いする雑貨店です。
生活雑貨・インテリア雑貨・服飾雑貨・モバイルアイテム・
キッズアイテムなど、様々なアイテムを300円を中心に、
幅広く取り揃えています。

3コインズ

国内店舗数 386店舗



販売費及び一般管理費

PAL GROUP HOLDINGS

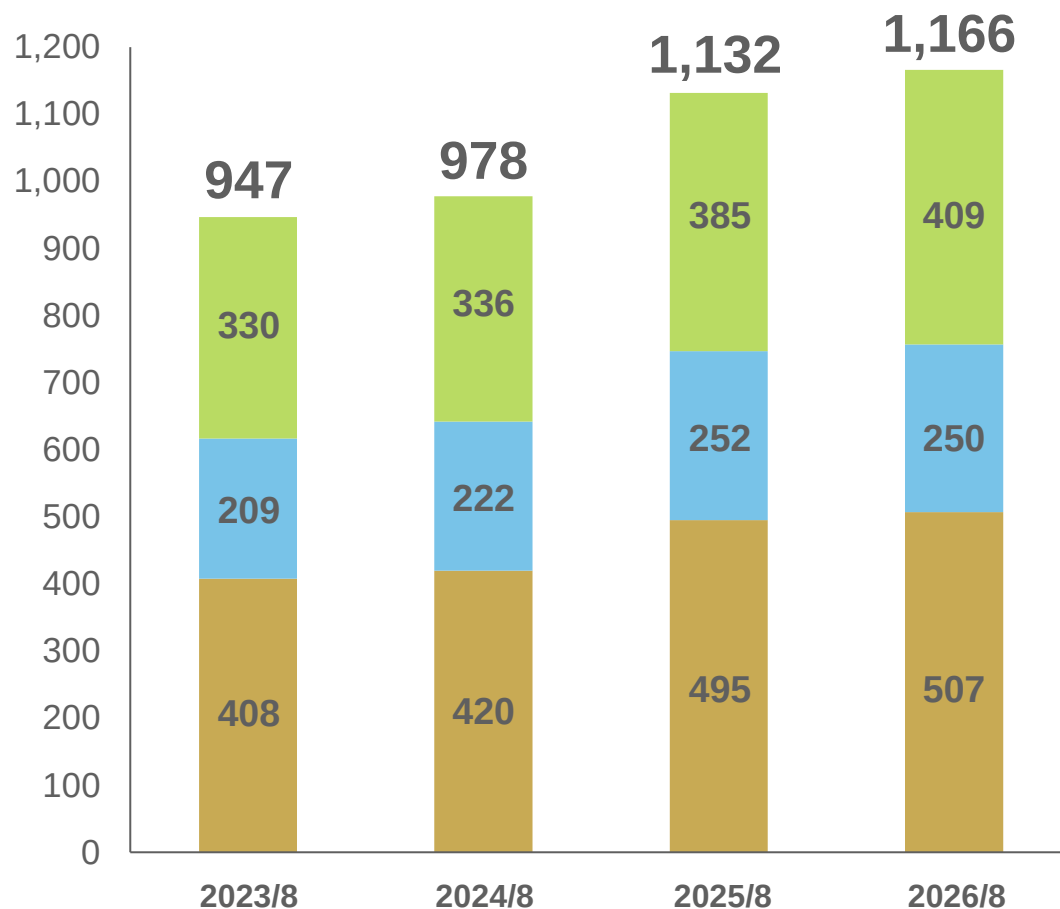
単位:百万円

	2025年2月期 第2四半期	2026年2月期 第2四半期	2027年2月期 第2四半期	前年同期比
(株)バルグループホールディングス単体 + (株)パル	40,209	44,350	47,456	107.0%
連結	44,866	52,778	56,178	106.4%
販管費率(連結ベース)	44.3%	45.1%	46.1%	1.0P
人件費率	16.3%	16.7%	17.0%	0.3P
賃料費率	11.3%	11.2%	11.2%	0.0P
減価償却費率	1.1%	1.3%	1.4%	0.1P
広告宣伝費率	0.9%	1.0%	0.9%	▲0.1P

- 売上高販管費率は、前年同期比1.0ポイント上昇しました。人件費の伸びに加え、減価償却費、運送費等の増加が販管費を押し上げる要因となりました。
- 売上高人件費率は、第1四半期の上振れの修正に努めた結果、上期累計では0.3ポイント上昇したものの、第1四半期の17.9%からは大幅に改善し、第2四半期は16.1%と落ち着きを取り戻しています。
- 店舗数および店舗面積が拡大していることを反映して、売上高減価償却費率が上昇していますので、固定費項目として追加いたしました。
- 賃料・広告宣伝費率は、しっかり抑制できています。

第2四半期末店舗数1,166店舗 （前期末比15店舗増）

- その他地方
- 関西圏
- 関東圏



● 出退店状況

上期の新規出店は39、退店は24となり、前期末比純増15店舗となりました。
衣料事業は出店23、退店19、純増4店舗
雑貨事業は出店16、退店5、純増11店舗、移転増床が10店舗ありました。

● 各ブランドの出店状況

衣料事業は、DISCOAT5店舗、その他で18店舗を出店しました。
雑貨事業は、3COINSの出店が13、退店が2で、純増11店舗となりました。3COINSにおいて、移転増床店舗が10あり、店舗面積は前年同期比111.2%と順調に拡大しております。

特別損益

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

	2025年2月期 第2四半期	2026年2月期 第2四半期	2027年2月期 第2四半期
補助金収入	220	—	—
特別利益合計	220	—	—
固定資産圧縮損	220	—	—
固定資産除却損	45	3	22
減損損失	219	131	233
特別損失合計	484	135	256

- 今年度上期は特殊要因は無く、例年と同じ水準の減損損失を計上しております。

連結貸借対照表

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

	2025年2月期	2026年2月期	2027年2月期 第2四半期	前期末比増減	備考
流動資産	114,287	128,759	116,751	▲12,008	
現金及び預金	85,715	96,264	83,851	▲12,412	
売掛金	10,473	13,076	13,894	818	
たな卸資産	16,743	18,108	17,371	▲737	
その他	1,358	1,310	1,633	323	
固定資産	33,642	35,737	36,433	696	
有形固定資産	12,965	14,189	14,609	420	
無形固定資産	816	739	775	36	
投資その他の資産	19,861	20,808	21,048	240	
資産合計	147,929	164,496	153,185	▲11,311	
流動負債	50,586	58,762	45,138	▲13,624	
固定負債	23,989	19,567	20,400	833	
負債合計	74,576	78,329	65,538	▲12,791	
純資産合計	73,353	86,167	87,646	1,479	自己資本比率 55.5%
負債純資産合計	147,929	164,496	153,185	▲11,311	

連結キャッシュ・フロー計算書

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

	2025年2月期 第2四半期	2026年2月期 第2四半期	2027年2月期 第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,398	12,910	▲3,040
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲2,386	▲2,129	▲2,140
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲3,912	▲5,927	▲7,268
現金及び現金同等物の増加（減少）額	11,100	4,829	▲12,412
現金及び現金同等物の期首残高	67,228	85,715	96,264
現金及び現金同等物の中間期末残高	78,329	90,544	83,851

- 前年8月末が金融機関の休日であったことから、通常期末に発生する支払い決済が翌期にずれ込み、前期の営業キャッシュ・フローが実態以上に膨らんでおりました。その反動として、当期8月末の営業キャッシュ・フローには約82億円の減少要因が反映されております。
- 同様に、前頁の連結貸借対照表において、前期末に未決済として残っていた負債が当期首に解消されたため、前期末比で現預金と流動負債がそれぞれ同額程度減少する結果となっております。

2027年2月期 連結・(株)パルグループホールディングス単体＋(株)パル業績の見通し

PAL GROUP HOLDINGS

1. 連結

単位:百万円

	2024年2月期	2025年2月期	2026年2月期	2027年上期	2027年下期	2027年2月期	前年比
売上高	192,544	207,825	234,704	121,931	131,069	253,000	107.8%
売上総利益	106,283	116,256	133,052	70,432	74,068	144,500	108.6%
販売管理費	87,677	92,599	105,907	56,178	58,922	115,100	108.7%
営業利益	18,605	23,656	27,144	14,254	15,146	29,400	108.3%
経常利益	18,839	23,929	27,129	14,216	15,184	29,400	108.4%
特別損益	▲600	▲3,763	▲222	▲256	▲344	▲600	270.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	12,845	11,848	17,714	9,428	9,572	19,000	107.3%
粗利率	55.2%	55.9%	56.7%	57.8%	56.5%	57.1%	0.4%

2. (株)パルグループホールディングス単体＋(株)パル

	2024年2月期	2025年2月期	2026年2月期	2027年2月期	前年比
売上高	172,051	182,632	198,150	214,000	108.0%
売上総利益	95,038	102,609	113,359	123,300	108.8%
販売管理費	78,310	81,325	88,795	97,000	109.2%
営業利益	16,728	21,284	24,564	26,300	107.2%
経常利益	16,696	21,309	24,594	26,300	107.1%
特別損益	▲464	▲3,530	▲675	▲500	74.1%
当期純利益	11,826	11,630	17,214	18,300	106.3%
粗利率	55.2%	56.2%	57.2%	57.6%	0.4%

2027年2月期 通期業績見通しの前提

PAL GROUP HOLDINGS

1. 店舗数の状況

	2025年2月期	2026年2月期	2026年8月末	2027年2月期 期末予想
新規店舗数	163	121	39	61
退店店舗数	34	48	24	32
店舗数純増	129	73	15	29
会計年度末の店舗数	1,078	1,151	1,166	1,180

2. 既存店売上の状況 (パルグループ各社の合計)

	2025年2月期	2026年2月期	2027年2月期 上期累計実績	2027年2月期 下期累計見通し	2027年2月期 通期見通し
既存店売上推移	100.4	102.0	100.6	103.5	102.0
うち小売既存店売上高	97.6	100.0	99.2	102.7	101.0
うちネット通販既存店売上高	105.8	109.5	103.5	109.0	106.0

	2025年3月	2026年3月	4月	5月	6月	7月	8月
既存店売上推移	101.7	99.3	98.2	105.8	96.9	104.1	100.4
うち小売既存店売上高	99.5	99.7	96.0	104.3	92.7	104.3	97.8
うちネット通販既存店売上高	114.7	96.9	100.4	102.8	106.7	102.8	103.5

3. 全店売上の状況

	2025年 3月	2026年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	上期計
全店売上	115.4	102.7	100.0	109.7	100.1	108.2	103.2	104.0
うちEC	118.3	96.1	98.2	109.2	106.7	102.1	108.4	103.4

4. 客数、客単価の推移((株)パル単体既存店前年比実績・実店舗のみ)

	客単価前年比	客数前年比
衣料事業	102.1%	102.6%
雑貨事業	102.2%	93.3%

SMILE
IS
POWER.

PAL GROUP HOLDINGS

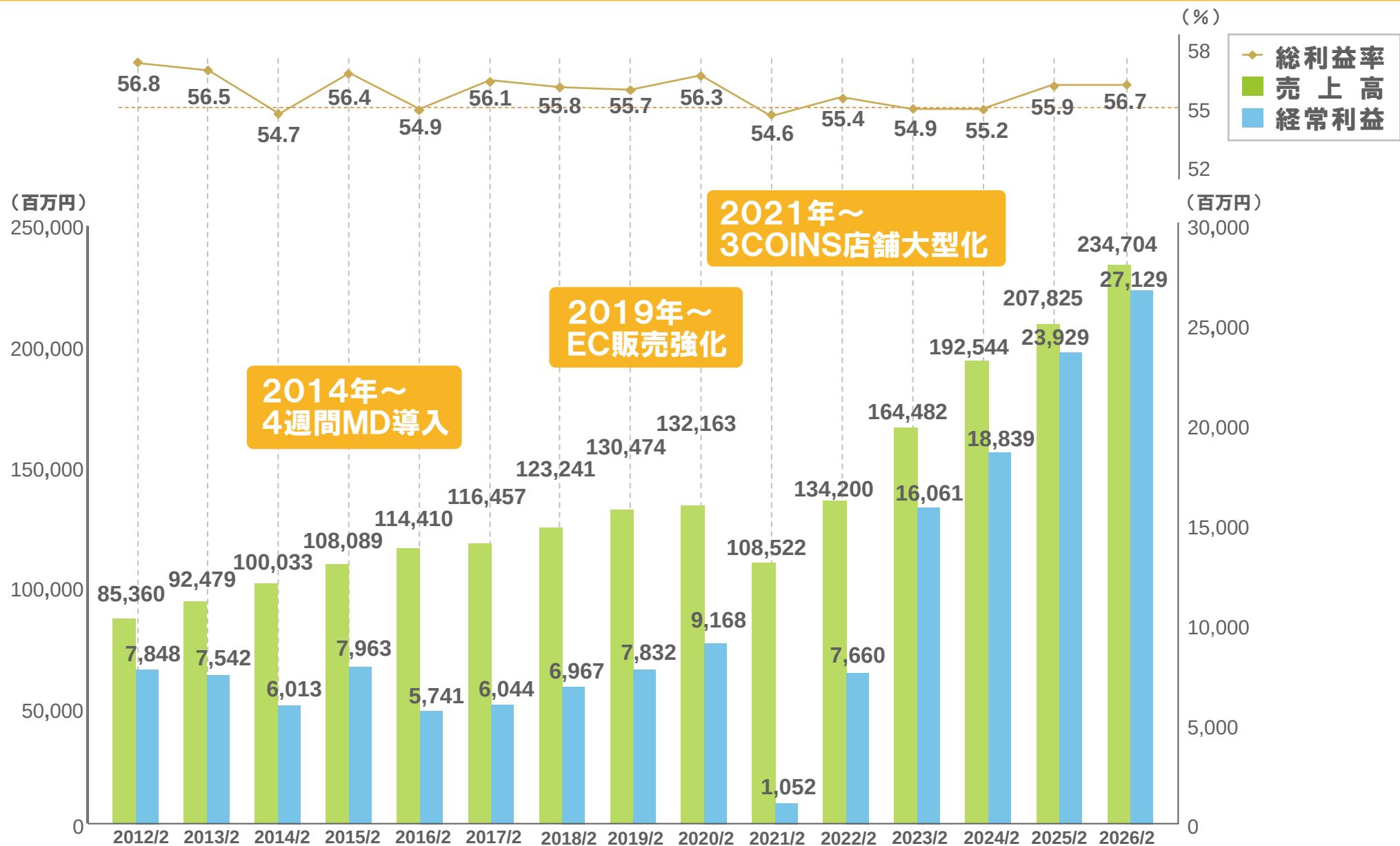
経営ビジョン

1. 業績推移
2. 中長期ビジョン
3. ビジネスモデル
 - ①. パルマップと
マルチブランドポートフォリオ戦略
 - ②. SNSマーケティングと4週間MDの連携
 - ③. 為替相場変動の当社事業への影響



1. 業績推移

PAL GROUP HOLDINGS

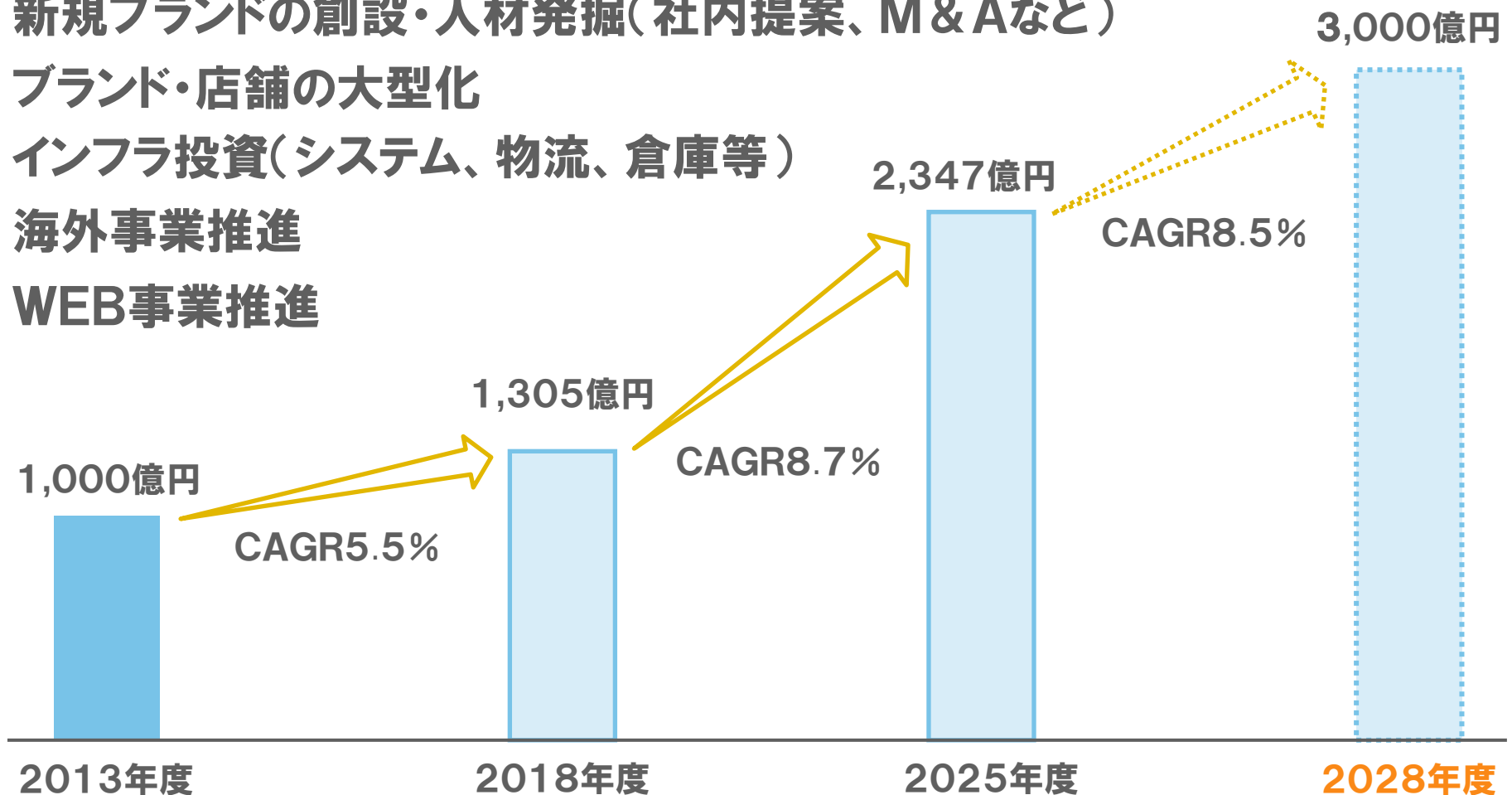


2. 中長期ビジョン(連結売上高目標)

PAL GROUP HOLDINGS

事業戦略

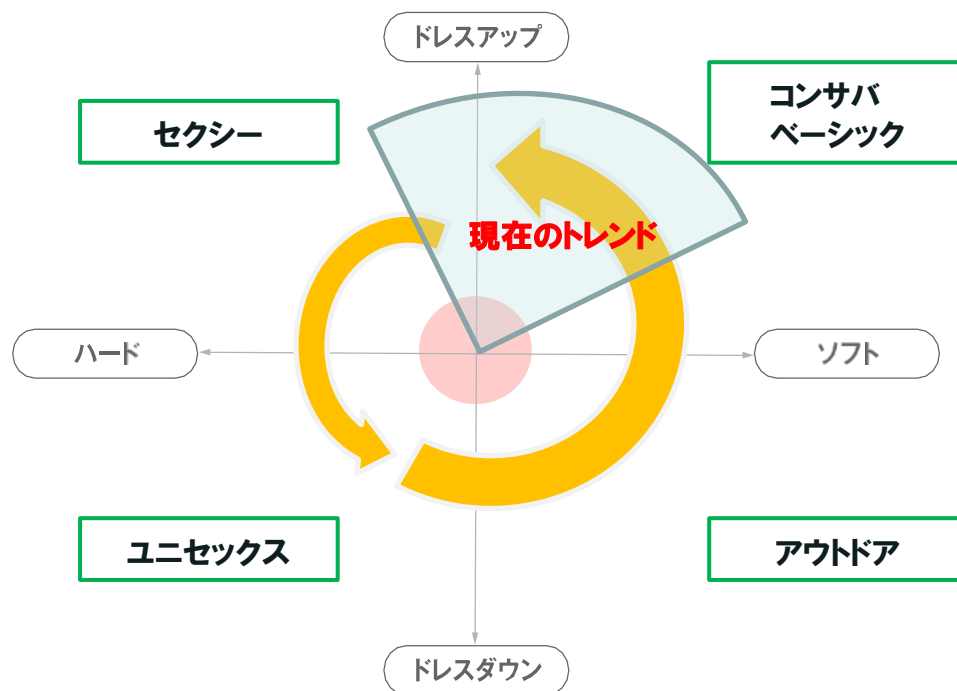
- 『パル流』高付加価値創造経営の推進(人的投資の拡大)
- 新規ブランドの創設・人材発掘(社内提案、M&Aなど)
- ブランド・店舗の大型化
- インフラ投資(システム、物流、倉庫等)
- 海外事業推進
- WEB事業推進



3-①. パルマップとマルチブランドポートフォリオ戦略

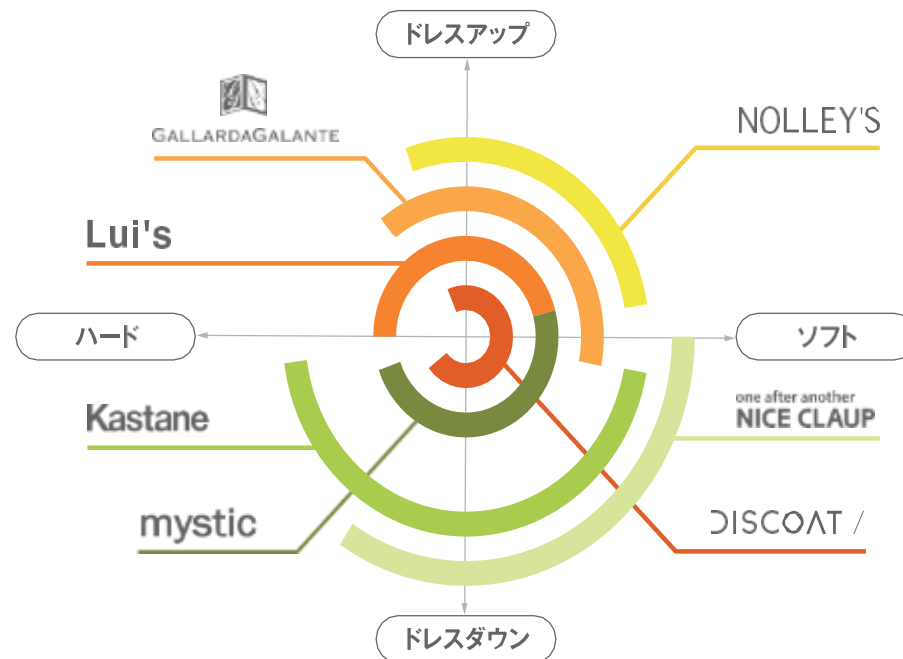
パルマップとは

「パルマップ」は、各ブランドの販売データや経験則に基づき、ファッショントレンドの周期性を可視化した当社独自の指針です。当社では、4つに分類したテイストゾーンをトレンドが「12年周期」で循環し、巡ることに消費者の感性も進化していくと分析しています。この再現性の高いマーケティングフレームワークこそが、変化の激しい市場においてトレンドを先取りし、適切なブランドポートフォリオを構築できる当社の強みです。



マルチブランドポートフォリオ戦略

当社の競争優位性を支えるのが、多様なブランドをパルマップ上にバランスよく配置する「マルチブランドポートフォリオ戦略」です。金融資産の分散投資と同様に、テイストやターゲット層を分散させたブランド群を展開することで、特定の流行に業績が左右されにくい、安定した事業構造を実現しています。さらに、非衣料領域である雑貨事業の成長が加わることで、事業の耐性と収益の安定性はより一層高まっています。



3-②. SNSマーケティングと4週間MDの連携

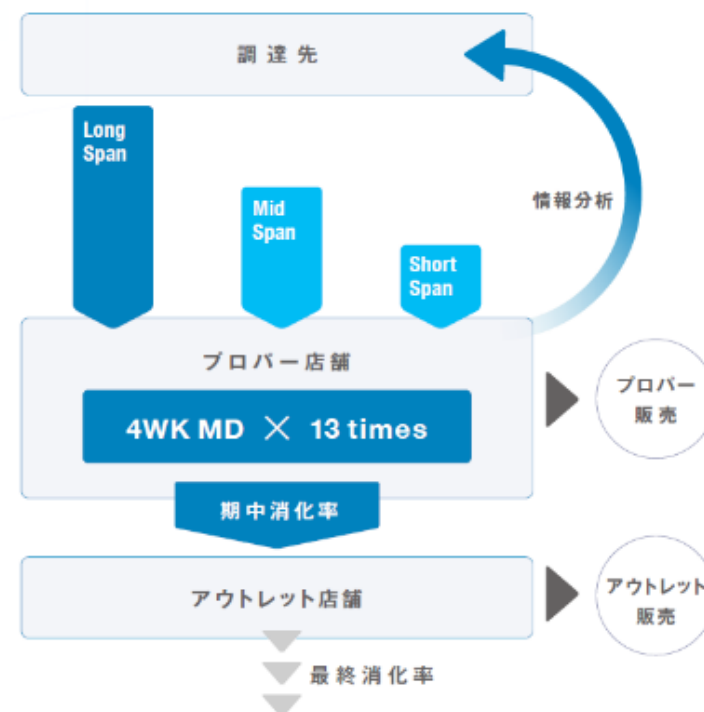
マーケティングとMDの連携により、最終消化率の向上と在庫リスクの軽減を実現。

「売れるものを、売れる時に、売れる分だけ」提供する「DX×MDの融合」こそが、当社の持続的な成長を牽引するコア・コンピタンスです。当社グループでは、社員インフルエンサーのSNSアカウントへの顧客フォロワー数が累計で2,800万人を突破し、自社ECプラットフォーム「パルクローゼット」の会員数も1,450万人を超えています。こうした顧客基盤を活かしたSNSマーケティングを展開し、そこから得られるリアルタイムな需要データに加え、「パルクローゼット」の顧客行動データ・販売管理データといった定性・定量情報を分析し、販売予測の精度を高めて、期中の生産量を適時・適量にコントロールしています。

当社グループは、アパレル業界の課題である過剰在庫リスクを打破するため、4週間MD体制を構築しています。

年間を13期間(1サイクル4週間)に細分化し、新商品の投入により店舗の鮮度を高め、トレンドの変化に即応するとともに、過剰在庫となるリスクも軽減しています。

SNSマーケティングと連動した生産量の最適化は、キャッシュフローの改善だけでなく、環境保護の観点からも極めて重要な役割を果たしています。



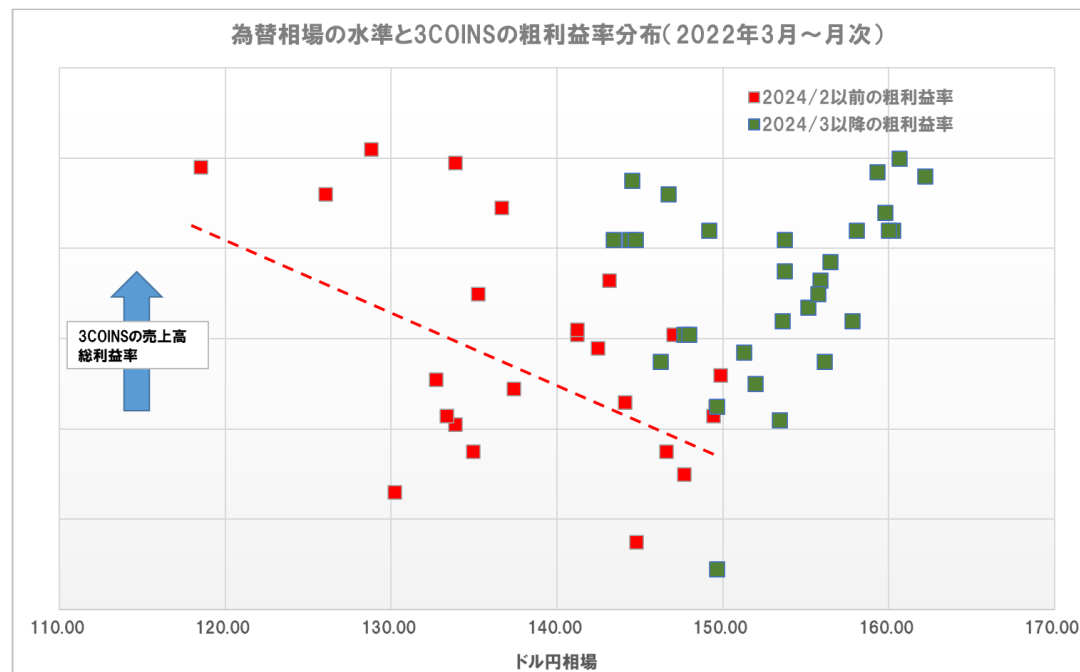
3-③. 為替相場変動の当社事業への影響

ビジネスモデルの進化により、円安が業績に与える影響を軽減

(株)パルの衣料事業においては、企画・発注する商品のほとんどが商社・大手メーカー経由であり、原価は発注時に円建てで確定します。また、4週間MDサイクルを回しているため、相場変動の影響は、早期に販売価格に織り込むことが出来ており、業績への影響は限定的です。

3COINS事業においては、300円で販売価格を固定している商品が売上の約3分の1を占めている他、直接貿易により、米ドル建てで仕入れている商品もあるため、為替相場変動の影響を一部受けております。

3COINSでは、円安や原材料高への対応として、2024年以降、価格決定権を持つ商品の拡充や付加価値に応じた適正価格の導入を推進いたしました。併せて直接貿易の拡大による中間コスト削減にも取り組んでおります。これらの施策の結果、2024年以前に見られた「円安に伴う利益率の低下」傾向は改善され、それ以降は為替が円安水準で推移する局面においても、安定した利益率を維持できる収益構造へとシフトしております。



SMILE
IS
POWER.

トピックス



1. MD改革の進捗状況

2. EC販売強化

①. EC売上高の推移

②. PALアプリ会員数の推移

3. サステナビリティへの取り組み

①. 奈良県高田高校で講演会を開催

②. 表彰社員の海外研修旅行

③. SDGs教育視察ツアーを開催

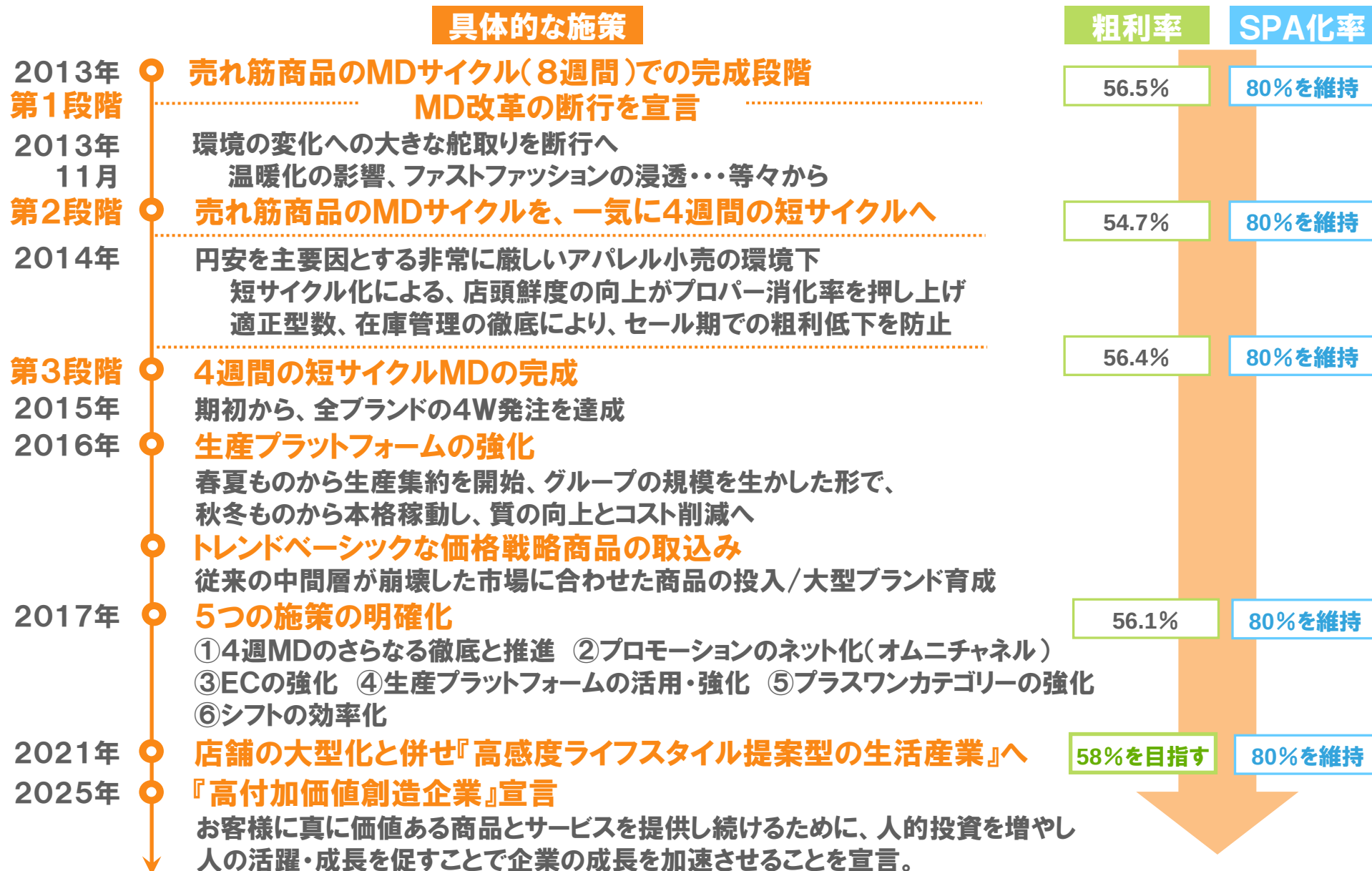
4. 海外展開

①. 3COINS台湾1号店オープン

②. 海外進出の状況

1. MD改革の進捗状況

PAL GROUP HOLDINGS



2-①. EC売上高の推移

※2022年度より「収益認識に関する会計基準」数値適用

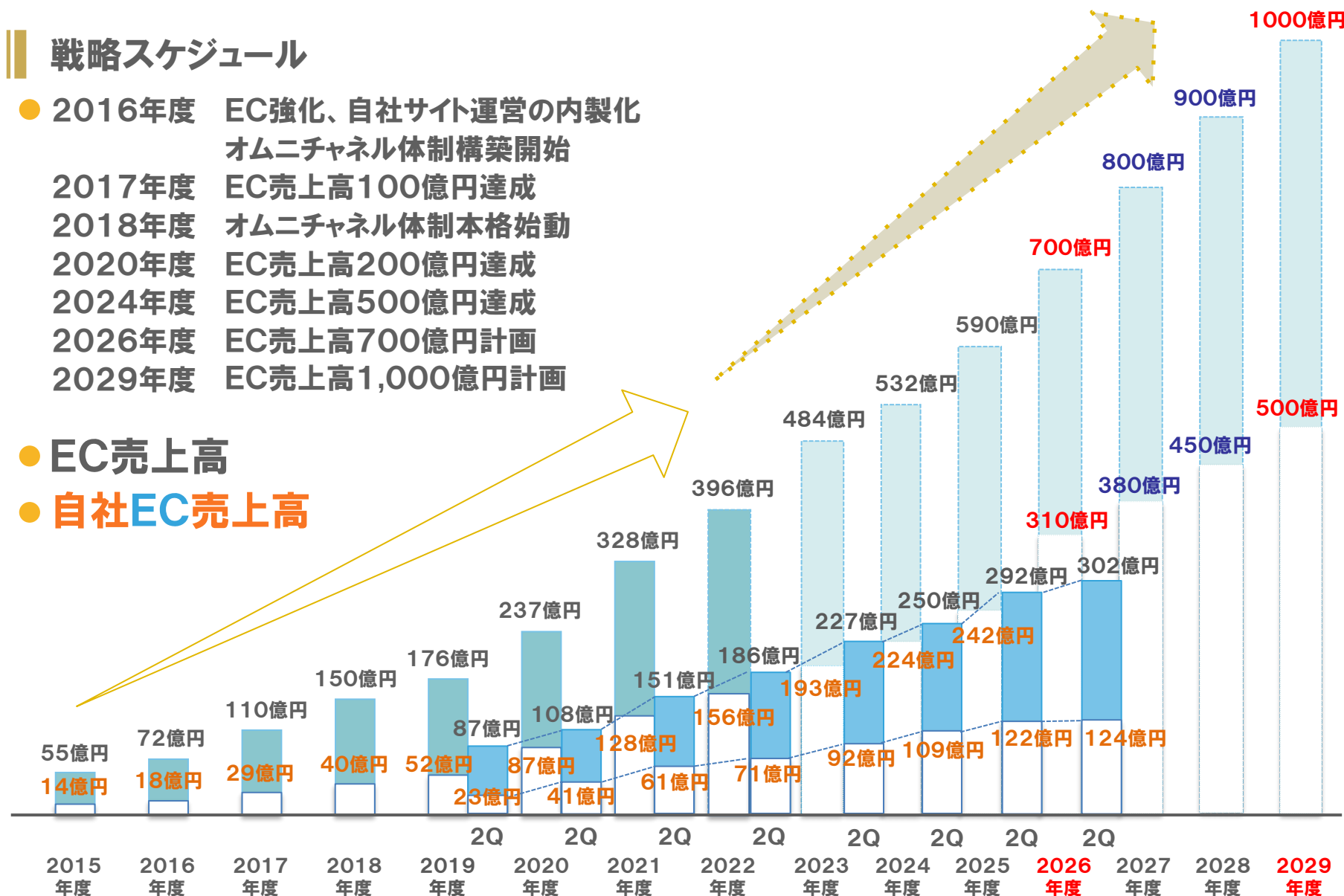
PAL GROUP HOLDINGS

戦略スケジュール

- 2016年度 EC強化、自社サイト運営の内製化
オムニチャネル体制構築開始
- 2017年度 EC売上高100億円達成
- 2018年度 オムニチャネル体制本格始動
- 2020年度 EC売上高200億円達成
- 2024年度 EC売上高500億円達成
- 2026年度 EC売上高700億円計画
- 2029年度 EC売上高1,000億円計画

● EC売上高

● 自社EC売上高



2-②. PAL CLOSETアプリ会員数の推移

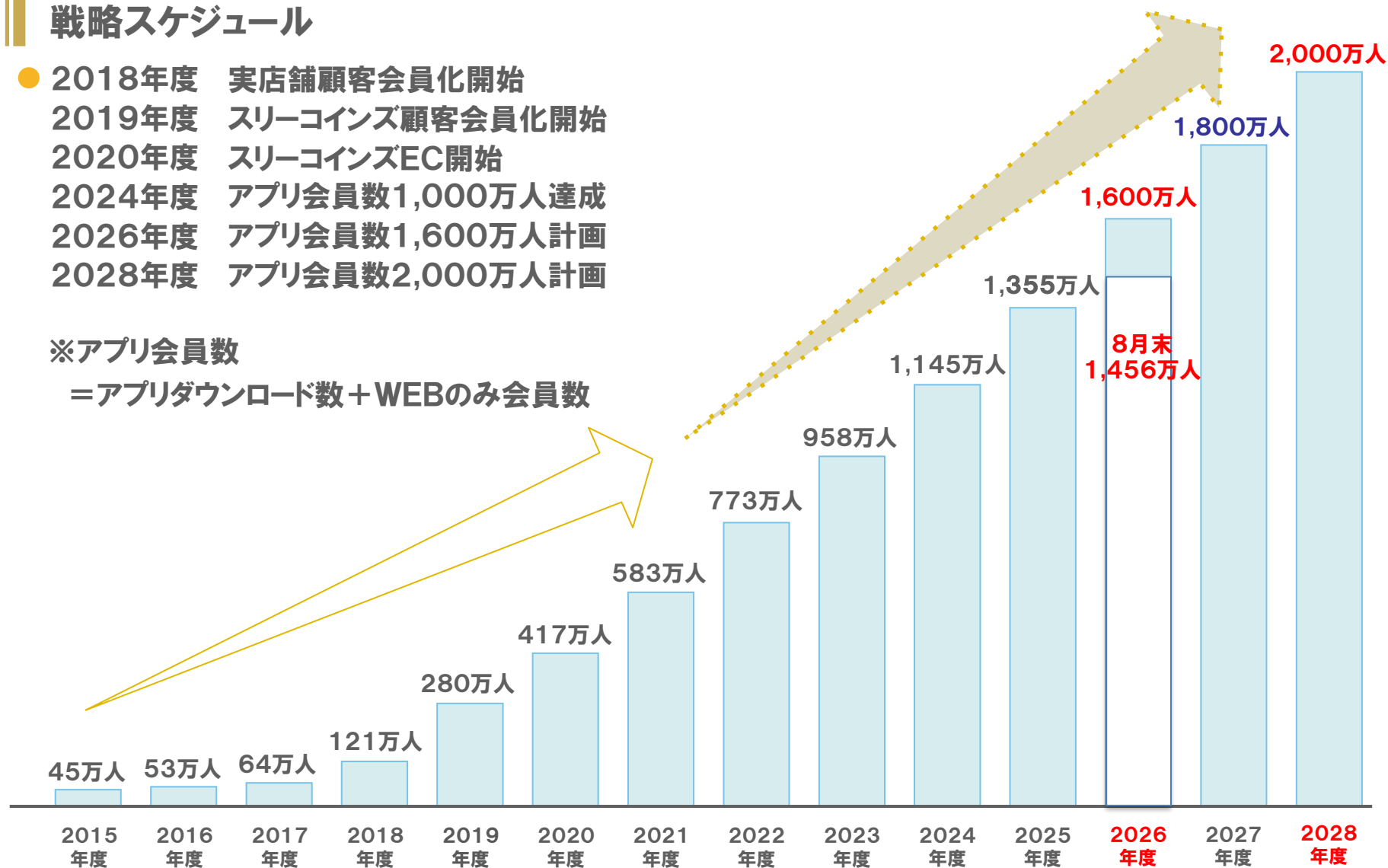
PAL GROUP HOLDINGS

戦略スケジュール

- 2018年度 実店舗顧客会員化開始
- 2019年度 スリーコインズ顧客会員化開始
- 2020年度 スリーコインズEC開始
- 2024年度 アプリ会員数1,000万人達成
- 2026年度 アプリ会員数1,600万人計画
- 2028年度 アプリ会員数2,000万人計画

※アプリ会員数

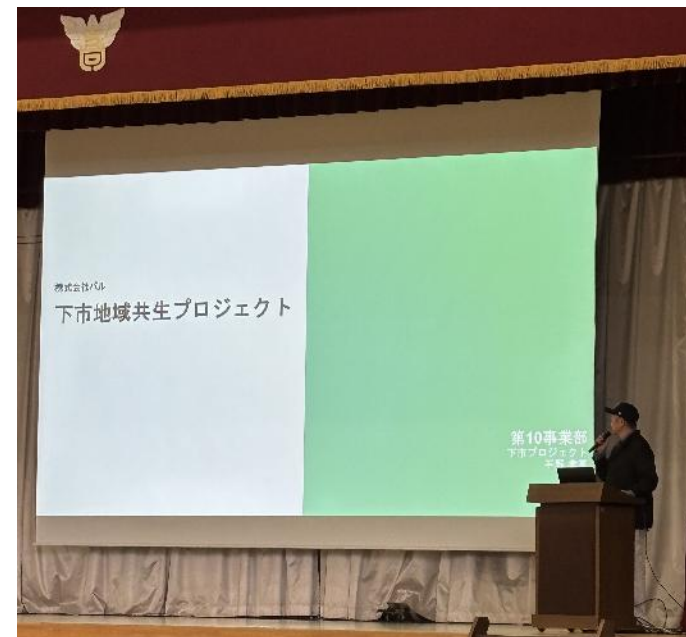
=アプリダウンロード数+WEBのみ会員数



3-①. 奈良県高田高校で講演会を開催

3COINSとKITOの取り組みについて講演会を開催しました。

サステナビリティ・社会貢献活動の一環として、3月18日に奈良県立高田高校にて生徒約720名を対象とした、キャリア・探究学習の社会人講演会を実施いたしました。講演では、「3COINS」のイノベティブなモノづくりに加え、地元・下市町の廃校リノベーション施設「KITO Forest Market Shiroishi」による地域活性化の取り組みを共有いたしました。参加した生徒からは「KITO」での就労機会に関する積極的な質問が出るなど、高い熱量で当社の姿勢に共感を得ることができました。地域の未来を担う次世代との接点を構築し、企業ブランドの価値向上と地域社会の発展に寄与する取り組みとなっています。



3-②. 表彰社員の海外研修旅行

表彰社員の海外研修旅行で、今年はデンマークを訪れました。

当社では創業以来、「挑戦と成果を称える文化」を大切にしております。その象徴的な取り組みが、特に優秀な実績を収めた社員に贈られる「海外研修旅行」です。

本年度はデンマークにて「暮らすように旅をする」をテーマに催行いたしました。現地では『ヒュッゲ』に象徴される豊かな暮らしの文化を学ぶべく、フリッツ・ハンセンやルイスポールセンといったトップブランドを訪問し、洗練された北欧デザインと現地文化への理解を深めました。異文化での体験を通じて個人の成長を促すとともに、ブランドやキャリアの枠を超えた社内ネットワークの構築に繋がっております。こうした経験の共有が、全社のエンゲージメント向上および組織の活性化につながっています。



3-③. SDGs教育視察ツアーを開催

服飾専門学校や大学の教職員を対象としたSDGsを学ぶ視察ツアーを開催しました。

当社では8月6日・7日の2日間、服飾専門学校や大学の教員の方々をお招きし、「SDGs教育視察ツアー」を開催いたしました。本ツアーでは、世界遺産に登録された「飛鳥・藤原の宮都」の構成資産を有する奈良県明日香村にて、自然由来染料による草木染体験や、長谷工コーポレーション様との官民・地域連携の取り組みについて理解を深めました。また、下市町では吉野杉の端材を活用した伝統的な割箸作りを体験したほか、当社が運営する「KITO Forest Market Shimoichi」にて、当社のSDGs・ESGへの取り組みに関する情報交換を行いました。地域の伝統産業や地方創生の学びを次世代の教育現場へ還元いただく機会として、大変有意義な取り組みとなりました。



4-①. 3COINS台湾1号店オープン

3COINSが、台北に初出店しました。

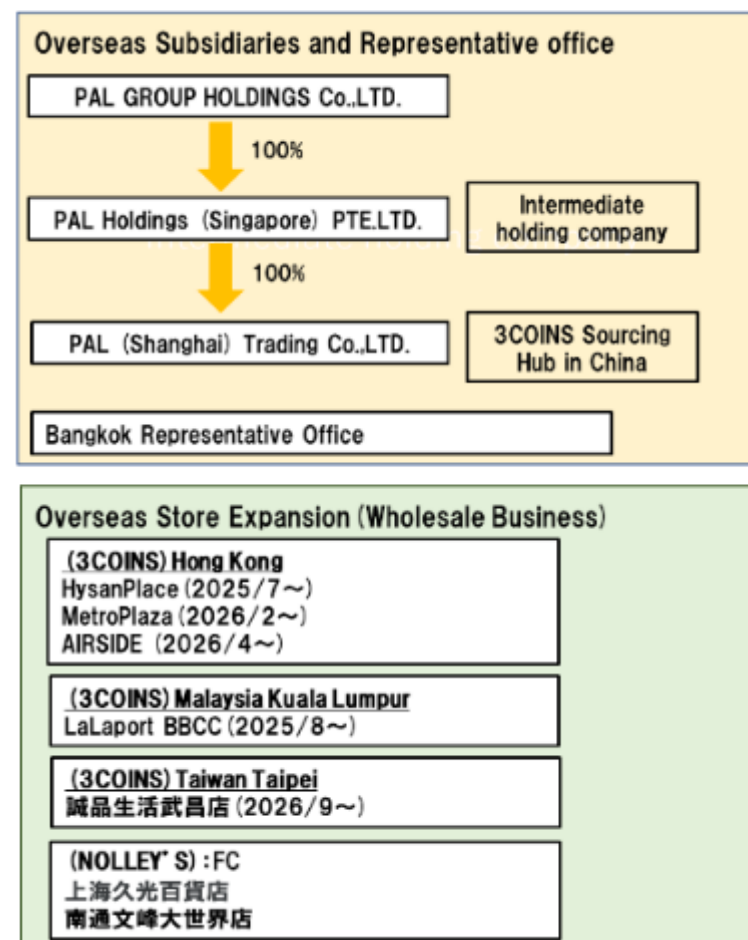
3COINSは、台湾1号店となる「3COINS誠品生活武昌店」を2026年9月12日にグランドオープンいたしました。オープン初日は、混雑回避のため整理券の配布や時間帯別の入店制限を実施するほどの盛況となりました。当日は、社員インフルエンサーのjunkoさんによる現地からのSNS配信に加え、現地のテレビや各種メディアでも大きく報じられ、高い注目を集めております。これにより海外展開は3カ国・地域へと拡大いたしました。今後もアジア圏を中心に、積極的なグローバル展開を推進してまいります。



4-②. 海外進出の状況

パルグループの海外拠点・展開の状況

パルグループの海外拠点と店舗展開の状況は、下記の通りです。



SMILE
IS
POWER.

PAL GROUP HOLDINGS

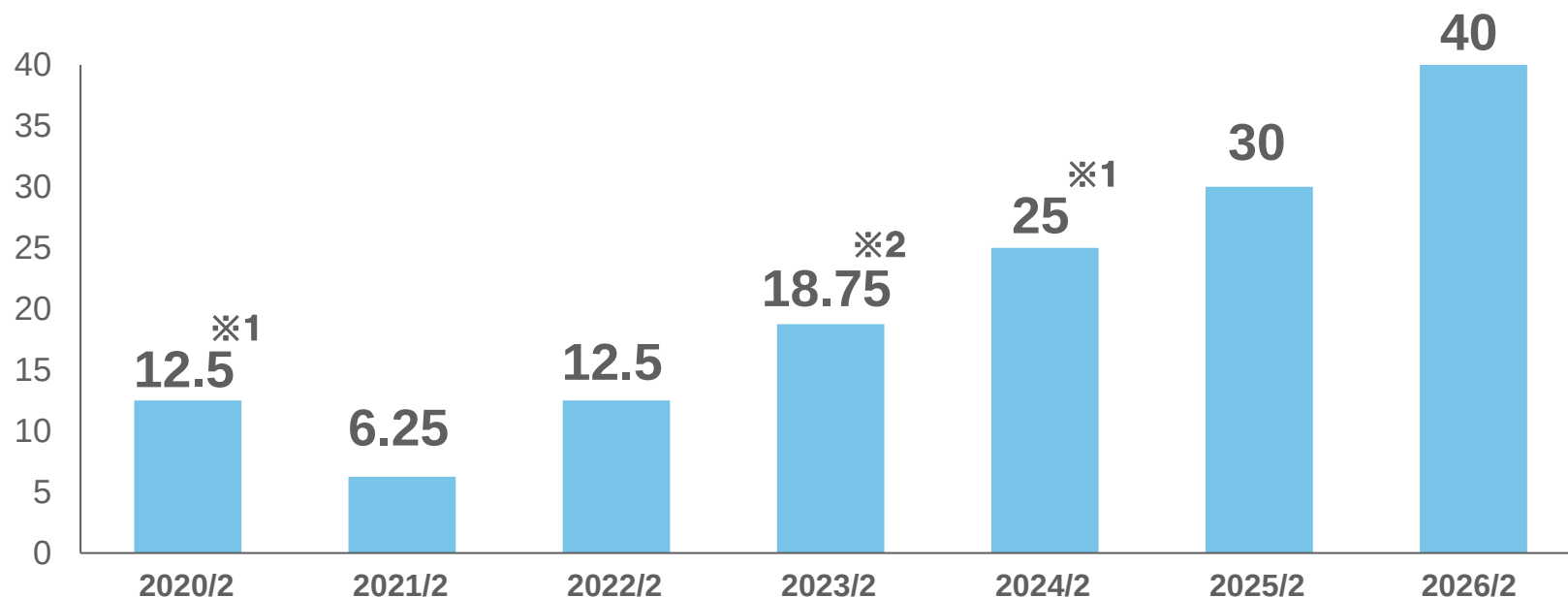
株主様への対応

1. 株主還元策について
2. 株主優待制度について



1. 株主還元策について

- 当社は、業績に対応した配当を行うことを基本とし、併せて安定的な配当の維持継続に留意するとともに、今後の積極的な事業展開に備えて内部留保の充実も勘案して決定しております。
- 当期末の1株当たりの配当は40円とする予定です（前期比同額）



※1 2020年3月1日、2023年9月1日及び2025年9月11日を効力発生日として、
1株を2株にする分割を実施済です。上記1株当たり配当金は2026年2月を基準として算定しております。

※2 18.75円配当の内訳は、15円の普通配当と、3.75円の50周年記念配当です。

2. 株主優待制度について

株主優待制度で利用可能な宿泊施設

西日本における利用可能な宿泊施設は「くろしお想」「セトレならまち」の2カ所、東日本における宿泊施設は「鬼怒川温泉ホテル」「鬼怒川金谷ホテル」の2カ所です。

優待制度の内容

● 対象となる株主様

毎年2月末日現在の当社株主名簿に記載または記録されている
100株（1単位）以上を保有されている株主様を対象といたします。

● 株主優待の内容

保有株式数に応じて、以下の2つの割引優待を選択出来る共通割引優待券を付与することとし、その利用期間は、毎年6月1日から翌年5月31日までとします。

- ①当社の関係子会社である株式会社フリーゲート白浜が和歌山県西牟婁郡白浜町にて運営する宿泊施設「くろしお想」での宿泊コース料金の50%を割引
- ②株式会社ホロニックとの提携により、同社が奈良市で運営する「セトレ ならまち」及び、金谷ホテル観光株式会社との提携により、同社が日光・鬼怒川エリアで保有する「鬼怒川温泉ホテル」「鬼怒川金谷ホテル」での宿泊コース料金の50%を割引

● 優待券の付与枚数…株式分割後も変更ありません

所有株式数	100株以上	200株以上	500株以上	1,000株以上
付与枚数	2枚	4枚	6枚	10枚



SMILE
IS
POWER.

PAL GROUP HOLDINGS

ESGへの取組み

1. 当社のESGの取組み
2. PALフォレスト事業（Environment）
- 3-①. 関西学院大学での寄附講座（Social）
- 3-②. パル井上財団での取組み（Social）
4. 人的資本経営の推進（Governance）



1. 当社のESGの取組み

当社のESGの取組み（Environment Social Governance）は、継続的に利益を上げ、税金を払い、雇用を継続するという企業の日常の活動を通して、『社員と株主みんなの幸せのための経営』という経営理念と、『未来につなげる社会と地球のための経営』の実現に向け、邁進することと考えています。



2. PALフォレスト事業（Environment）

PAL GROUP HOLDINGS

「PALフォレスト事業」の取組み（Environment）

2011年より、「PALフォレスト植林事業」をスタート。以来13年間で400本以上の広葉樹を植林してまいりました。2020年～21年はコロナ禍のため中止となりましたが、2022年には再開し、現在に至っております。

2025年は、ノーリーズからの参加者も加わり、パル・ナイスクラブ・ノーリーズ・ザ・バックの4社合同で実施。昨年より15名多い51名が参加して、植林地の下草刈りを行いました。

2026年も、11月5日に実施予定で準備を進めています。



3-①. 関西学院大学での寄附講座（Social）

PAL GROUP HOLDINGS

関西学院大学、国際学部での寄附講座の取組み（Social）

当社は、2013年から5年間の大阪大学での寄附講座に続き、2019年から、関西学院大学、国際学部での寄附講座を開始いたしました。机上での理論に加え、経営、流通の現場からの講義を通して、将来の人材育成に寄与し続けたいと考えています。



美しい時計台のある関西学院キャンパス



3-②. パル井上財団での取組み（Social）

PAL GROUP HOLDINGS

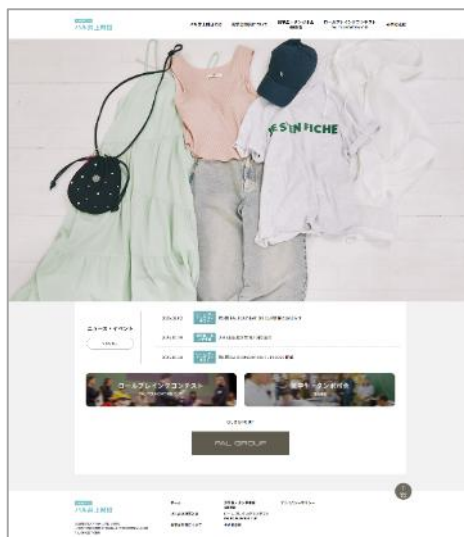
『公益財団法人パル井上財団』での人材育成①（Social）

当社は、2013年より、創業一族である井上ファミリーとともに『一般財団法人パル井上財団』を設立した後、現在は公益財団としての認定を内閣府より受けて公益事業を行なっております。

具体的には、将来、ファッション業界や関連する分野に貢献しうる有用な人材を育成したいという趣旨から、学業・人物ともに優秀で、経済的理由により修学が困難な学生に対し、奨学金を給付しています。

現在、90名を超える全国の総合大学及び服飾系の大学・専門学校の学生（留学生を含む）に奨学金を給付しています。

『公益財団法人パル井上財団』
Webサイト
トップページ



パル井上財団

3-②. パル井上財団での取組み（Social）

PAL GROUP HOLDINGS

『公益財団法人パル井上財団』での人材育成②（Social）

パル井上財団では、奨学金の給付事業に加え、2018年度より、次世代のファッションビジネスを担う人材育成を目的とした、全国規模の接客ロールプレイングコンテスト『PAL FOUNDATION CUP』を開催しております。

本大会は、商品知識はもとより、顧客ニーズを捉える判断力や対応力、提案力を総合的に審査するものです。ファッション業界を志す学生が目標とする大会であると同時に、実践的なスキル向上の意欲を後押しする機会となっております。



4. 人的資本経営の推進（Governance）

PAL GROUP HOLDINGS

女性のキャリアアップを支援する仕組みづくり（Governance）

当社グループの主力事業の多くは女性顧客をターゲットとしており、全従業員の80%を超える女性が、店舗や商品開発担当、ブランド本部など多様な職種で活躍しています。当社では、誰もがその能力と個性を存分に発揮できるよう、多様なライフステージに対応する支援制度を拡充するとともに、非正規雇用から正社員への積極登用や、リーダーの育成といったキャリアアップの仕組みづくりを推進してまいりました。

こうした取り組みの結果、店長の女性比率は85%、女性管理職比率は69%に達しております。顧客に近い感性を持った女性幹部社員が、当社の好調な業績を支える強力なドライバーとなっています。

産休、育休制度

（スムーズな復職をチームでサポート）

小学校3年生まで

時短勤務が可能

シスター制度

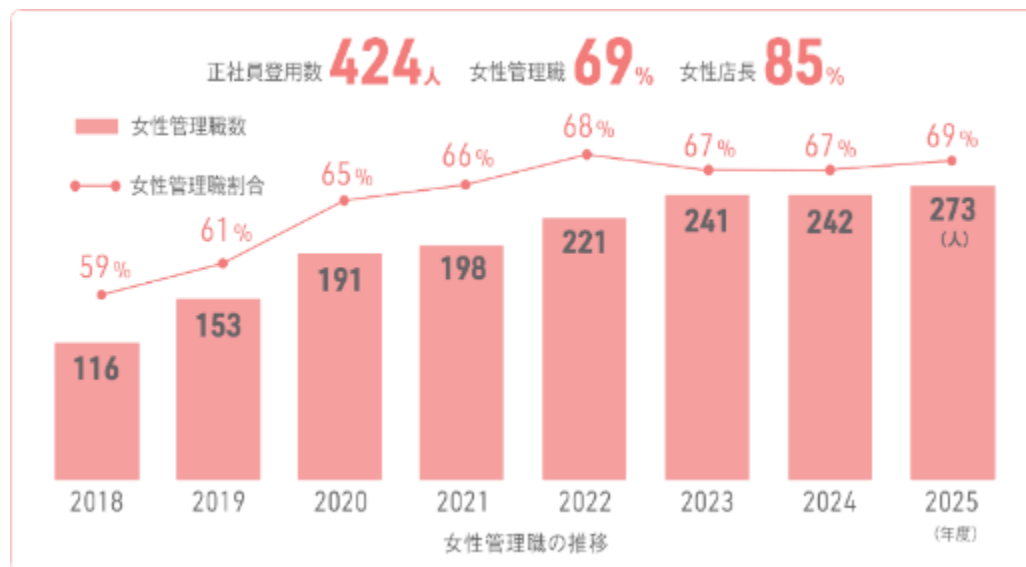
（新卒入社後半年間は先輩社員がシスターとして教育係が付いて指導&相談を丁寧に行う）

階層ごとの細やかな研修

（正社員登用時・サブ登用時・店長登用時）

PPU制度による評価

（役割により評価項目、点数配分が明確）



社 是

「常に新しいファッションライフの
提案を通して社会に貢献」

グループ 経営理念

「社員と株主みんなの
幸せのための経営」

社 名

株式会社 パルグループホールディングス

所 在 地

【本社所在地】 大阪府大阪市中央区道修町3-6-1 京阪神御堂筋ビル10F
【東京本社】 東京都渋谷区神宮前6丁目12-22 秋田ビル4F

代 表 者

児島 宏文

資 本 金

31億8,120万円

設 立

1973年10月

事業内容

婦人服・紳士服・雑貨等の企画・製造及び卸・小売

店 舗 数

1,166店舗

経営企画部

TEL 06-6227-0308

FAX 06-6231-1056

本資料に記載されている、計画、戦略、予想などのうち、歴史的事実でない情報は将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは異なる結果となる可能性があることをご了承ください。

また、本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定はご自身のご判断において行われるようお願いいたします。